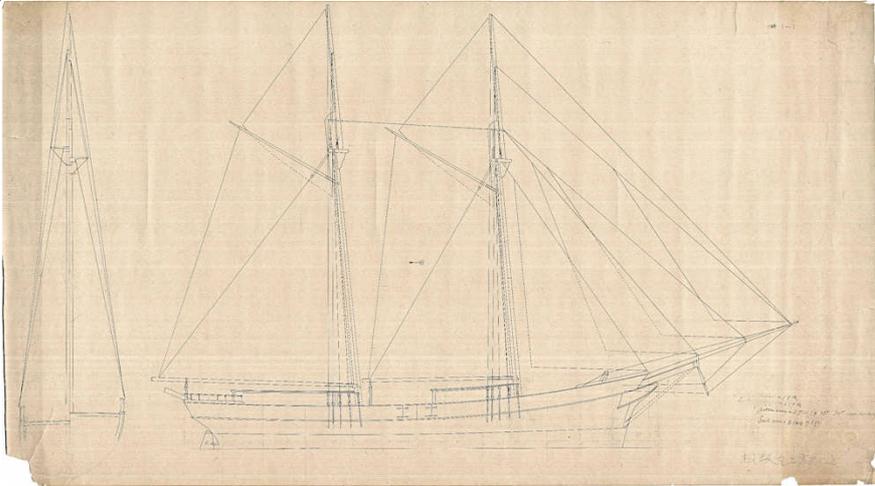


「ふね遺産」（推薦様式）：A4一枚に収め、それ以上は別途資料添付して下さい。

No.(*)	内容	備考
1. 対象物・資料の 名称・所属 または所有者	対象物：市川造船所造船資料 所有者：伊勢市	伊勢市担当：伊勢市教育委員会文化振興課
2. 対象物の 作成・存在時期	作成時期：安政5年(1858)～昭和57年(1982)	安政5年は「綱より機」、昭和57年第1352番船（管財人下で建造）
3. 現状 (写真添付)	 「松坂丸」明治11年竣工の日本初の国産洋式帆装貨物船	
4. ふね遺産 認定基準の 該当項目(**)	【認定対象】 (3) 【認定基準】 (6)	
5. 歴史的・ 工学技術的意 義	伊勢市大湊町は古来より造船の地として栄え、明治期以降も多数の造船所が操業していたが、現在では造船業を営むのは1社のみとなっている。その中で市川造船所は元禄15年(1702)創業とされ、昭和53年の倒産までの間多数の船舶を建造し、その中には日本造船史においても特筆される船舶（別紙参照）も多く含まれる。同社に残った貴重な造船資料は廃棄される恐れがあったが、旧市川造船関係者、造船資料調査のために同地を訪問した故野本謙作大阪大学名誉教授らの努力により、平成26年2月に旧市川造船所労組より伊勢市に寄贈された。総計6万余点にもおよぶ膨大な資料である。特に明治初期に始まる帆船、補助機関付帆船、機帆船、汽船と変遷する洋式木造船に関する多くの図面、関係書類は貴重であり、これだけまとまったものは他で見ることができない。	
6. 参考資料・文 献 (本表に収まら ない場合は別途 添付する)	(1) 造船協会 編：日本近世造船史、弘道館、明治44年(1911) (2) 造船協会 編：日本近世造船史 大正時代、造船協会、昭和10年(1935) (3) 日本造船学会 編：昭和造船史 第1巻（戦前・戦時編）、明治百年史叢書、原書房、昭和52年(1977) (4) 日本造船学会 編：昭和造船史 第2巻（戦後編）、明治百年史叢書、原書房、昭和48年(1973)	以下、別途添付

(*) No.は学会で記載します。

(**) ふね遺産認定基準の【認定対象】と【認定基準】の項目の内、該当する最もふさわしい項目一つを、文頭の番号で記載して下さい。